

令和4年度第2回小金井市地域福祉推進委員会次第

日 時 令和4年11月11日（金）

午後1時30分から

場 所 市役所第二庁舎8階 801会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 保健福祉総合計画策定概要について
- (2) アンケート調査票について
- (3) その他

3 事前配布資料

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 小金井市保健福祉総合計画策定概要 | 資料1 |
| (2) アンケート調査票について | 資料2 |
| (3) アンケート調査票【調査1】及び【調査12】 | 資料3 |
| (4) 前回アンケート調査票及び結果報告書 | 資料4 |
| (5) 小金井市再犯防止推進計画の策定について | 資料5 |
| (6) 意見・提案シート | 資料6 |

4 当日配布資料

- | | |
|------------------------------|---------|
| (1) 小金井市地域福祉推進委員会委員名簿 | 当日配布資料1 |
| (2) アンケート調査票に係る意見及び検討結果 | 当日配布資料2 |
| (3) アンケート調査票【調査1】及び【調査12】 | 当日配布資料3 |
| (4) 保健福祉総合計画策定に関するアンケート調査票概要 | 当日配布資料4 |
| (5) 個別計画アンケート調査票 | 当日配布資料5 |

小金井市地域福祉推進委員会委員名簿

(敬称略)

	氏名	推薦団体・所属団体等	選出区分
1	霜鳥 文美恵	—	公募市民
2	服部 玲子	—	
3	吉田 晶子	—	
4	山下 和美	—	
5	金子 和夫	ルーテル学院大学	学識経験者
6	室岡 利明	社会福祉法人小金井市社会福祉協議会	福祉関係団体 関係機関
7	穂坂 英明	一般社団法人小金井市医師会	
8	古宮 景子	小金井市民生委員児童委員協議会	
9	宮井 敏晴	小金井市福祉 NPO 法人連絡会	
10	畑 佐枝子	小金井市地域自立支援協議会	
11	酒井 利高	小金井市介護保険運営協議会	
12	藤森 寿美子	小金井市市民健康づくり審議会	

(令和4年11月11日)

令和4年11月11日

アンケート調査票に係る意見及び検討結果

計4件

	頁	項目	御意見	意見に対する検討結果
調査1	P 3	問6	選択肢7「虐待」の表現が直截的すぎるため、「非人間的な扱い」等の表現の方が相応しいのではないか	「非人間的な扱い」という表現は一般的にあまり使われていない表現であり、当該調査は無作為抽出で選ばれた一般の市民の方を対象とする調査であるため、社会一般に周知されている「虐待」という用語を使用したいと考えます。
調査1	P 3	問7	選択肢に「6 関心がない」を追加してはどうか ※回答肢は主に参加の度合いを問うものだが、自らが生活する地域・町内との関りを意識面から知る上では、「関心度合い」の選択肢があっても良いと思われる。	御意見にもあるとおり、町内の行事や活動への参加実態を測る質問のため、活動への関心度合いを測る選択肢を加えると、「あまり参加していない」「ほとんど参加していない」という選択肢と競合し選択が割れてしまう可能性があります。また、前回調査から引き続き設けている質問であるため、経年比較の点からも原案の選択肢のまま進めたいと考えます。
調査1	P 6	問 ● 新規	「ひきこもり」に関する質問について、「成人して働いていない家族」の要因を選択する質問の選択肢に「家事専業（介護・育児を含む）」を加えてはどうか ※無業成人の中には専業主婦（夫）や育児・介護のためにリタイアしている人たちも少なからずいるのではないかと。また同居していない要介護親族の介護なども考えられる。	ご指摘のとおり、成人して働いていない方の中には、家事専業の方、介護・育児等に専念している方が多くいます。当該質問は、ひきこもりの実態を調査することを目的としているため、質問の最初に「ひきこもり」に関する定義を明記し、「成人して働いていない家族」の存在を調べる質問において、あらかじめ家事専業の方等は対象とならないように書き方を見直し、次に続く要因を調査する質問に繋げていく形で修正します。
調査1	P 8	問 ● 新規	新規「コロナによる行動変化」に関する質問について、回答肢が極端なので中間的要素を入れた回答の方がベターではないか。 1.2.3の記述を以下のとおり変更 (変更前) (変更後) ・外出しなくなった→外出する回数が減った ・人と会わなくなった→人と会う頻度が減った ・人や物に触るのが怖くなった→人や物に触るのに注意深くなった	ご指摘のとおり修正します。

小金井市保健福祉総合計画（地域福祉計画）策定のための アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから福祉行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
ございます。

小金井市では、平成30年3月に第2期小金井市保健福祉総合計画を策定し、市の総合計画「小金井しあわせプラン」に掲げられた「誰もが安心して暮せる思いやりのあるまち」の実現を目指し、福祉における制度の枠組みを超え、すべての市民の福祉と健康づくりの支援に努めています。

このアンケート調査は、令和5年度に第2期の計画期間が終了することから保健福祉総合計画及び地域福祉計画の改定にあたり、無作為に抽出した18歳以上の市民1,700人を対象にアンケート調査を実施します。皆様の福祉に関する考え方、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画改定に反映していきたいと考えております。

このアンケート調査は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年12月

小金井市

ご記入にあたってのお願い

○この調査票には、お名前・ご住所をご記入しないでください。

○ご記入は、ご本人にお願いいたします。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の考えをお聞きのうえ、またはご意向をくみ取ったうえで、代理でご記入をお願いいたします。

○お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。

○「その他」に○をつけられた方は、（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。

○なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。

◇調査票の回収について

回答は郵送またはインターネットで行うことができます。インターネットで回答した場合は、この調査用紙の提出は不要です。

【郵送で回答する場合】

○ご記入いただいた調査票は、令和5年1月10日（火）までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。（切手は不要です。）

【インターネットで回答する場合（パソコン、スマートフォンからご回答いただけます。）】

URL：https://questant.jp/q/*****

この調査票のパスワード *****

入力期限：令和5年1月10日（火）

- ・上記のパスワードは、調査票の重複を防ぐためのものであり、個人を特定するものではありません。



[WEB アンケートはこちらから](#)

調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

○ご記入いただいた調査票は、令和5年1月10日（火）までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

小金井市 福祉保健部 地域福祉課

電話：042-387-9915（直通） FAX：042-384-2524

A. あなたご自身についておたずねします。

F 1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1 男性

2 女性

F 2 あなたの年齢(令和4年12月1日現在)は次のどれですか。(1つに○)

1 18~19歳

5 35~39歳

9 55~59歳

13 75~79歳

2 20~24歳

6 40~44歳

10 60~64歳

14 80歳以上

3 25~29歳

7 45~49歳

11 65~69歳

4 30~34歳

8 50~54歳

12 70~74歳

F 3 あなたはどちらにお住まいですか。また、丁目を〔 〕内にご記入ください。(1つに○)

1 東町〔 〕丁目

5 中町〔 〕丁目

9 貴井北町〔 〕丁目

2 梶野町〔 〕丁目

6 前原町〔 〕丁目

10 貴井南町〔 〕丁目

3 関野町〔 〕丁目

7 本町〔 〕丁目

11 その他

4 緑町〔 〕丁目

8 桜町〔 〕丁目

F 4 あなたは小金井市に住んでどのくらいになりますか。(1つに○)

1 1年未満

4 5年以上 10年未満

2 1年以上 3年未満

5 10年以上 20年未満

3 3年以上 5年未満

6 20年以上

F 5 あなたの主な職業は何ですか。(1つに○)

1 自営業

4 家事専業

2 正規雇用(正社員など)

5 学生

3 非正規雇用(契約社員、嘱託社員、パート、
アルバイトなど)

6 無職

7 その他()

F 6 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(1つに○)

1 ひとり暮らし

4 三世帯世帯(親と子と孫)

2 夫婦のみ

5 その他()

3 二世帯世帯(親と子)

問6 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものは何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1 あいさつをしない人が多い | 8 隣近所との交流が少ない |
| 2 緊急時の対応体制がわからない | 9 世代間の交流が少ない |
| 3 犯罪の増加 | 10 地域の活動が活発でない |
| 4 交通マナーの乱れ | 11 地域の中で気軽に集まれる場が少ない |
| 5 道ばたのごみが増えた | 12 障がい者に対する理解が不足している |
| 6 地域での子どもの見守りがなされていない | 13 健康に対する意識が低い |
| 7 子どもや高齢者、障がい者に対する虐待を見たり聞いたりする | 14 特に問題はない |
| | 15 その他 () |

問7 あなたは、町内の行事や活動等に参加していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 積極的に参加している | 4 ほとんど参加していない |
| 2 できるだけ参加している | 5 どのような行事・活動があるか知らない |
| 3 あまり参加していない | |

問8 地域の課題を解決するために、どのような方策が必要だと思いませんか。(3つまで○)

- 1 町会・自治会への入会を勧める
- 2 地域の集まりへの参加を促す
- 3 地域活動を活発にする
- 4 住民のボランティア活動を活発化させる
- 5 地域の見守り活動を活発化させる
- 6 誰もが気軽に来られる居場所を地域に増やす
- 7 相談窓口を充実させる
- 8 地域福祉の担い手となる人々※を増やす
- 9 地域福祉の担い手となる人々※が連携する
- 10 地域の問題を専門的な福祉サービスにつなげる
- 11 住民と行政をつなげるパイプ役を果す組織を増やす
- 12 その他 ()
- 13 特にない

※ 行政、社会福祉法人(社会福祉協議会等)、民生委員・児童委員、町会・自治会、ボランティア団体、NPO等

C. 地域活動やボランティア活動などについておたずねします。

問9 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んだことはありますか。(1つに○)

- 1 現在、継続的に取り組んでいる
- 2 たまに、取り組むことがある
- 3 取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない

- 4 取り組んだことはない
- 5 取り組むことができない

問9で「1」「2」「3」を選んだ人におたずねします。

問9-1 どのような活動に取り組んだことがありますか。(いくつでも○)

- 1 町会活動や自治会活動
- 2 PTA活動や学校ボランティア活動
- 3 老人クラブ活動
- 4 子ども会などの青少年育成活動
- 5 ごみのリサイクル活動
- 6 福祉ボランティア活動
- 7 芸術文化活動
- 8 消費者団体活動
- 9 地域防災活動
- 10 国際交流活動
- 11 男女共同参画推進活動
- 12 交通安全活動
- 13 自然環境保護などの環境活動
- 14 その他 ()

問9で「4」「5」を選んだ人におたずねします。

問9-2 活動していない理由は何ですか。(いくつでも○)

- 1 町会・自治会等の組織に入っていない
- 2 仕事・子育て・介護などで時間がない
- 3 参加方法がわからない
- 4 興味がない
- 5 経済的な負担が大きい
- 6 家族の理解が得られない
- 7 体調がすぐれない
- 8 一緒に活動する仲間がいない
- 9 人間関係等がわずらわしい
- 10 その他 ()
- 11 特にない

すべての方におたずねします。

問10 どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(いくつでも○)

- 1 活動情報の提供がある
- 2 友人等と一緒に参加できる
- 3 身近なところで活動できる
- 4 活動時間や曜日を選べる
- 5 気軽に参加できる
- 6 適切な指導者やリーダーがいる
- 7 特技や知識が活かせる
- 8 身体的な負担が少ない
- 9 経済的な負担が少ない
- 10 自分の知識や経験を豊かにできる
- 11 その他 ()
- 12 特にない

D. 日常生活についておたずねします。

問11 あなたが日常生活の中で不安や課題と感じていることはありますか。(3つまで○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 家族の介護に関すること | 8 健康に関すること |
| 2 子育てに関すること | 9 ごみの問題等、生活環境の保全に関すること |
| 3 教育に関すること | 10 犯罪・治安に関すること |
| 4 仕事に関すること(失業問題等も含む) | 11 災害時の備えに関すること |
| 5 経済的なこと | 12 その他() |
| 6 生きがいづくりや社会参加に関すること | 13 特にない |
| 7 生涯学習に関すること | |

問12 日常生活の中で不安や課題と感じていることに対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに○)

- 1 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ当事者や関係者同士で解決したい
- 2 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
- 3 住民と行政とで協働して解決していきたい
- 4 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
- 5 その他()

問13 あなたが生活上の問題で相談や助けが必要なとき、だれに手助けを頼みたいですか。(3つまで○)

- | | | |
|----------------|---------------------|--------------|
| 1 家族・親族 | 8 ボランティア・NPO法人 | 15 かかりつけ医 |
| 2 友人・知人 | 9 地域包括支援センター | 16 警察署・消防署 |
| 3 同じ問題や悩みをもつ仲間 | 10 自立相談サポートセンター※1 | 17 学校等の先生 |
| 4 町内会や近所の人 | 11 権利擁護センター※2 | 18 頼める相手がいない |
| 5 市役所の相談窓口 | 12 シルバー人材センター | 19 自分で解決する |
| 6 社会福祉協議会 | 13 障害者福祉センター | 20 その他() |
| 7 民生委員・児童委員 | 14 ケアマネジャーや福祉施設の関係者 | |

【※1 自立相談サポートセンターとは】

市が社会福祉協議会に委託し、生活が困窮している人に、支援員が支援プランを作成し、問題解決に向けた支援を行う相談窓口です。

【所在地】小金井市本町5丁目36番17号 小金井市社会福祉協議会内

【連絡先】042-386-0295

【※2 権利擁護センターとは】

市が社会福祉協議会に委託し、認知症状や障がいなどで、サービスを選んだり、契約したり、金銭管理が難しくなった方に対し、成年後見制度や福祉サービス利用の支援を行う相談窓口です。

【所在地】小金井市本町5丁目36番17号 小金井市社会福祉協議会内

【連絡先】042-386-0121

問14 隣近所で、高齢者や障がいのある方の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 子どもの送り迎え |
| 2 趣味などの話し相手 | 9 子どもの通学路の見守り |
| 3 買い物の手伝い | 10 高齢者等の介護 |
| 4 ごみ出し | 11 困りごとへの相談相手 |
| 5 外出の手助け | 12 緊急時の手助け |
| 6 家の前などの掃除 | 13 その他 () |
| 7 短時間の子どもの預かり | 14 特になし |

問● 様々な要因の結果として社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊など）を避け、長期にわたって家庭にとどまり続けている状態を「ひきこもり」と言われています。ご家族で、このようなひきこもり状態にある方はいらっしゃいますか。
(1つに○)

- 1 いる (歳) (歳) (歳) 2 いない

問●で「1 いる」を選んだ人におたずねします。

問●-1 そのような状態になっている要因は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 疾病（精神的なもの） | 6 性格的なもの |
| 2 疾病（けが等） | 7 学校や職場になじめず |
| 3 失業・退職 | 8 事故や犯罪被害 |
| 4 不登校 | 9 その他 () |
| 5 就職の失敗 | 10 わからない |

問● ひきこもりに関する支援策として必要と思われるものは何ですか。(いくつでも○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 ひきこもりに関して、地域住民への正しい理解と知識の普及 |
| 2 家族の方への支援 |
| 3 家族同士が気軽に集まり、何でも話せる居場所 |
| 4 継続的な訪問支援 |
| 5 ひきこもりの人の自立に向けた生活訓練や社会復帰訓練ができる場所の充実 |
| 6 不登校の子どもへの支援の充実 |
| 7 関係機関同士の情報の共有や連携の強化 |
| 8 その他 () |

問17 あなたはご自身の将来に関して、以下のことに不安を感じていますか。

((1) ~ (4) についてそれぞれ1つに○)

	不安がある	不安が少しある	不安はないあまり	不安はない
(1) 健康に過ごせるかどうか	1	2	3	4
(2) 生きがいを感じる生活ができるかどうか	1	2	3	4
(3) 経済的に困らない生活ができるかどうか	1	2	3	4
(4) 地域や社会から孤立しないかどうか	1	2	3	4

問● 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの行動や意識に変化はありましたか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 外出する回数が減った | 5 健康に気を付けるようになった |
| 2 人と会う頻度が減った | 6 人とのつながりの大切さを知ることができた |
| 3 人や物に触るのに注意深くなった | 7 その他 () |
| 4 不安になることが多くなった | 8 特にない |

E. 防災や災害時の対応についておたずねします。

問18 あなたは防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について、どのようにお考えですか。((1) ~ (7) についてそれぞれ1つに○)

	はい	いいえ	わからない
(1) 災害時の避難場所を知っていますか	1	2	
(2) 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか	1	2	
(3) 市の「小金井市地域防災計画」を読んだことはありますか	1	2	
(4) 家庭に食料や日用品の備蓄をしていますか	1	2	
(5) 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	1	2	3
(6) 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方などの要支援者の避難等の手助けができますか	1	2	3
(7) 災害などの緊急時に、近所の人と互いに助け合えると思いますか	1	2	3

問19 災害が発生して避難が必要になったときに、あなたはどのようなことが心配ですか。
(いくつでも○)

- 1 お住まい（家屋）の耐震性のこと
- 2 家具や家電の転倒対策が不十分なこと
- 3 食料や日用品の備蓄が不十分なこと
- 4 災害時の集合場所や避難所の場所がはっきりわからないこと
- 5 避難所での日常生活の困難さのこと
- 6 自分が一人で避難することが困難なこと
- 7 一人で避難することが困難な同居の家族（高齢者、障がいのある方、乳幼児等）がいること
- 8 自分や家族の健康のこと
- 9 家族の所在や安否確認のこと
- 10 飼っているペット（犬、猫等）の避難のこと
- 11 災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと
- 12 その他（)
- 13 特に心配なことはない

問20 災害に備えて、市民や企業等が行政と協働で取り組むと良いと思う事はどのようなことですか。(いくつでも○)

- 1 地域住民同士の声かけや安否確認
- 2 住民同士で行う防災組織の活動の充実
- 3 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実
- 4 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成
- 5 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催
- 6 小・中学校の防災教育・訓練の充実
- 7 地域内外の団体等との日ごろからの交流
- 8 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等
- 9 その他（)
- 10 特にない

F. 福祉の制度・サービス等についておたずねします。

問21 あなたは、次の福祉関係団体・制度について、どの程度ご存知ですか。

((1) ~ (9) についてそれぞれ1つに○)

	内容を知っている	名前程度は知っている	知らない
(1) 民生委員・児童委員	1	2	3
(2) 社会福祉協議会	1	2	3
(3) 福祉サービス苦情調整委員（福祉オンブズマン）	1	2	3
(4) シルバー人材センター	1	2	3
(5) 地域包括支援センター	1	2	3
(6) 自立相談サポートセンター 市が社会福祉協議会に委託し、生活が困窮している人に、支援員が支援プランを作成し、問題解決に向けた支援を行う相談窓口。	1	2	3
(7) 権利擁護センター 市が社会福祉協議会に委託し、認知症状や障がいなどで、サービスを選んだり、契約したり、金銭管理が難しくなった方に対し、成年後見制度や福祉サービス利用の支援を行う相談窓口。	1	2	3
(8) 成年後見制度 判断能力に不安のある方の生活を支えるため、本人の意思を確認しながら日常生活における判断を本人に代わって行う制度。	1	2	3
(9) 避難行動要支援者名簿 災害時に一人で避難することが困難で、支援が必要な方をあらかじめ市に登録し、本人同意のもと、市の関係部署、警察、消防等と情報を共有する名簿。	1	2	3

問22 あなたは、自分に必要な「福祉サービス」※の情報をどの程度入手できているとお考えですか。
(1つに○)

※福祉サービスとは行政が行う高齢者福祉サービス、介護保険サービス、障害福祉サービス、児童福祉サービスなどを指します。

1 十分入手できている	3 ほとんど入手できていない
2 十分ではないが、入手できている	4 今のところ情報を得る必要がない

問 23 へ

(問 22 で「1」「2」を選んだ方におたずねします。)

問22-1 あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。(いくつでも○)

1 市役所の窓口や市報	6 ケアマネジャーやヘルパー
2 民生委員・児童委員	7 近所の人・知人・友人
3 社会福祉協議会	8 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
4 子ども家庭支援センター	9 インターネット
5 地域包括支援センター	10 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問23 あなたは、今後、「福祉サービス」に関する情報をどこから入手したいですか。(いくつでも○)

1 市役所の窓口や市報	6 ケアマネジャーやヘルパー
2 民生委員・児童委員	7 近所の人・知人・友人
3 社会福祉協議会	8 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
4 子ども家庭支援センター	9 インターネット
5 地域包括支援センター	10 その他 ()

問24 小金井市社会福祉協議会は、様々な福祉問題の解決に向けて活動や支援を行っています。
社会福祉協議会の行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。
(3つまで○)

- 1 ボランティア活動の参加促進と支援
- 2 住民による見守りや支え合い活動への支援
- 3 隣近所や町内会など、地域における住民同士の交流活動への支援
- 4 気軽に相談できる福祉総合相談の充実
- 5 誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービスの充実
- 6 地域住民への福祉に関する普及啓発
- 7 学校における福祉体験学習の推進
- 8 広報紙やインターネットなどによる福祉に関する情報発信の充実
- 9 その他 ()
- 10 特にない

問● あなたは、「日常生活自立支援事業・成年後見人制度（認知症や障がいのある方等が地域で自立した生活を送れるように福祉サービスの利用手続きや生活費の管理及び財産管理等を行なう制度）」をご存知ですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 内容までよく知っている | 3 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 2 内容を少し知っている | 4 知らない |

問● 成年後見制度の利用促進に向けての課題は何だと思えますか。(いくつでも○)

- 1 制度に関する十分な知識がない
- 2 誰に相談して良いか分からない
- 3 本人や家族、親族等の理解が得られない
- 4 申立費用や後見報酬などの費用がかかる
- 5 内容や手続きが煩雑である
- 6 適当な後見人候補が見つからない
- 7 その他 ()
- 8 特にない
- 9 わからない

G. 再犯防止支援についておたずねします。

問● 犯罪をした人が孤立することなく社会に復帰し、犯罪や非行を繰り返すことを防ぐため、平成28年に再犯の防止等の推進に関する法律（再犯防止推進法）が施行されました。あなたは、このことを知っていますか。（1つに○）

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 内容までよく知っている | 3 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 2 内容を少し知っている | 4 知らない |

問● 罪を犯した人が地域に戻る場合、その人に対してどのような支援が必要だと思いますか。（いくつでも○）

- | |
|---|
| 1 住まいの確保 |
| 2 経済的支援 |
| 3 就労支援 |
| 4 地域住民の理解・関わり |
| 5 罪を犯した人に対する支援ネットワーク（病院・学校・福祉施設や民間団体等） |
| 6 保健医療・福祉サービスの利用 |
| 7 その他（ ） |
| 8 特にない |
| 9 わからない |

H. 保健福祉施策等についておたずねします。

問25 小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。

あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」だと思いますか。（1つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない |

問26 地域の支え合いの仕組みづくりで、あなたが特に必要であると思うことは何ですか。（3つまで○）

- | |
|--|
| 1 地域住民が地域の福祉活動に参加するようPRすること |
| 2 地域の人々が知り合う機会や活動する場所を確保すること |
| 3 ボランティアを募集し、紹介する窓口を設けること |
| 4 地域の支え合いを進めるために、きっかけとなる事業を創設し推進すること |
| 5 様々な団体が地域の課題について話し合うための機会を設けること |
| 6 活動する場所や資金を行政が支援すること（活動拠点等の整備等） |
| 7 地域で暮らす様々な人々が、お互いに認め合い、支え合うよう意識を啓発すること |
| 8 社会福祉法人（社会福祉協議会等）、ボランティア団体・NPO 法人等の活動の充実 |
| 9 企業の福祉事業への参入の拡大・活性化 |
| 10 その他（ ） |
| 11 福祉に頼る以前に、まず個人・家族で努力すべき |

問27 あなたは、これからの小金井市の福祉は何を重点にすべきだと思いますか。
(3つまで○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 在宅福祉サービスの充実 | 8 学校等での子どもの頃からの福祉教育の充実 |
| 2 手当等の経済的援助 | 9 子育て支援のための保育所、児童館の充実 |
| 3 ボランティア団体等市民活動への援助 | 10 気軽に相談できる人や集まれる場所の整備等 |
| 4 住民がお互いに助け合えるまちづくり | 11 健康増進や生きがいづくり |
| 5 道路の段差解消等バリアフリーの充実 | 12 施設福祉サービスの整備・充実 |
| 6 個人の自立を支援するサービスの充実 | 13 その他 () |
| 7 生活困窮者への支援の充実 | |

問28 みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、あなたができること、地域で取り組むべきことなど、何かご意見などがあれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。

小金井市保健福祉総合計画（地域福祉計画）策定のための アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから福祉行政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
ございます。

小金井市では、平成30年3月に第2期小金井市保健福祉総合計画を策定し、市の総合計画「小金井しあわせプラン」に掲げられた「誰もが安心して暮せる思いやりのあるまち」の実現を目指し、福祉における制度の枠組みを超え、すべての市民の福祉と健康づくりの支援に努めています。

このアンケート調査は、令和5年度に第2期の計画期間が終了することから保健福祉総合計画および地域福祉計画の改定のための調査で、地域における福祉の担い手である、福祉に関連する活動を行っている市内の団体を対象に実施します。

このアンケート調査は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表したり、調査目的以外に使用することはありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年12月

小金井市

ご記入にあたってのお願い

- この調査票には、お名前・ご住所をご記入しないでください。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- 「その他」に○をつけられた方は、（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。
- なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。

◇調査票の回収について

回答は郵送またはインターネットで行うことができます。インターネットで回答した場合は、この調査用紙の提出は不要です。

【郵送で回答する場合】

- ご記入いただいた調査票は、令和5年1月10日（火）までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。（切手は不要です。）

【インターネットで回答する場合（パソコン、スマートフォンからご回答いただけます。）】

URL：https://questant.jp/q/*****

この調査票のパスワード *****

入力期限：令和5年1月10日（火）

- ・上記のパスワードは、調査票の重複を防ぐためのものであり、個人を特定するものではありません。



[WEB アンケートはこちらから](#)

調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

- ご記入いただいた調査票は、令和5年1月10日（火）までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

小金井市 福祉保健部 地域福祉課

電話：042-387-9915（直通） FAX：042-384-2524

A. 貴団体についておたずねします。

F 1 貴団体はどのような活動団体ですか。(1つに○)

- 1 NPO法人 2 任意団体（法人格なし） 3 その他（ ）

F 2 貴団体の名称と連絡先をご記入ください。

団体名称	
連絡先	住所
	電話

F 3 貴団体の主な活動場所は次のうちどれですか。(1つに○)

- 1 団体の事務所
2 地域の公的施設（公民館や地域の集会所等）
3 福祉施設や病院等
4 職員、スタッフの個人宅や勤務先等
5 その他（ ）

F 4 貴団体は、活動をはじめてからどのくらいになりますか。(1つに○)

- 1 1年未満 4 5年以上 10年未満
2 1年以上 3年未満 5 10年以上 20年未満
3 3年以上 5年未満 6 20年以上

F 5 活動している職員、スタッフの数は何人ですか。(1つに○)

- 1 10人未満 4 50人～99人
2 10人～29人 5 100人～499人
3 30人～49人 6 500人以上

F 6 活動している中心職員、スタッフの年齢層はどれですか。(1つに○)

- 1 20歳未満 4 40歳代 7 70歳代
2 20歳代 5 50歳代 8 80歳以上
3 30歳代 6 60歳代 9 わからない

問3 貴団体の令和3年度の事業費（活動費）の合計はどのくらいですか。（1つに○）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 100万円未満 | 5 1,000万～1,500万円未満 |
| 2 100万～250万円未満 | 6 1,500万～2,000万円未満 |
| 3 250万～500万円未満 | 7 2,000万円以上 |
| 4 500万～1,000万円未満 | |

問4 貴団体は、令和3年度に助成金を受けましたか。（1つに○）

※複数受けた場合は、金額の一番多いものでご回答ください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 行政など公的機関の助成金 | 4 個人による助成金 |
| 2 民間企業などによる助成金 | 5 その他（ ） |
| 3 NPO団体などによる助成金 | 6 助成金を受けていない |

問4で「1」～「5」を選んだ方におたずねします。

問4-1 令和3年度に受けた助成金の合計額はいくらでしたか。（1つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 50万円未満 | 4 200万～500万円未満 |
| 2 50万～100万円未満 | 5 500万～1,000万円未満 |
| 3 100万～200万円未満 | 6 1,000万円以上 |

問5 貴団体では、活動や事務作業で報酬を受け取る人がいますか。（1つに○）

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問5で「1 いる」を選んだ方におたずねします。

問5-1 令和3年度の人件費総額はいくらでしたか。（1つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 50万円未満 | 4 200万～500万円未満 |
| 2 50万～100万円未満 | 5 500万～1,000万円未満 |
| 3 100万～200万円未満 | 6 1,000万円以上 |

問6 活動や事業で公的機関や他団体から業務受託しているものはありますか。
（いくつでも○）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 行政からの受託 | 5 個人からの受託（一定期間継続する業務） |
| 2 企業からの受託 | 6 その他（ ） |
| 3 社会福祉法人やNPOなどからの受託 | 7 業務受託しているものはない |
| 4 自治会やPTAなど地域の組織からの受託 | |

問7 活動を行う上で、どのような団体、グループと交流や協力関係がありますか。
(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 行政 | 13 児童福祉施設 |
| 2 町会・自治会 | 14 自立相談サポートセンター |
| 3 NPO法人 | 15 青少年健全育成地区委員会 |
| 4 ボランティア団体 | 16 病院・医療施設 |
| 5 民生委員・児童委員 | 17 保育園・幼稚園 |
| 6 保育園、幼稚園等の保護者会・PTA | 18 小学校・中学校 |
| 7 老人会・老人クラブ | 19 高校・大学 |
| 8 障がい者当事者会・家族会 | 20 消防団・自主防災組織 |
| 9 社会福祉協議会 | 21 企業・商店 |
| 10 高齢者福祉施設 | 22 その他 () |
| 11 地域包括支援センター | 23 特にない |
| 12 障がい者福祉施設 | |

問8 他団体との交流や協力関係は、どのような状況ですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 活動や業務を一緒に行っている | 6 イベントを共催している |
| 2 定期的に協議している | 7 行政などに提案活動を行っている |
| 3 資金を出し合って活動や業務を行っている | 8 事務所や活動の場所を共有している |
| 4 人事交流をしている | 9 その他 () |
| 5 広報活動を一緒に行っている | 10 協力し合っている団体はない |

問8で「10 協力し合っている団体はない」と回答した団体にお聞きします。

問● 今後、交流や協力関係を持ちたいグループはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 行政 | 13 児童福祉施設 |
| 2 町会・自治会 | 14 自立相談サポートセンター |
| 3 NPO法人 | 15 青少年健全育成地区委員会 |
| 4 ボランティア団体 | 16 病院・医療施設 |
| 5 民生委員・児童委員 | 17 保育園・幼稚園 |
| 6 保育園、幼稚園等の保護者会・PTA | 18 小学校・中学校 |
| 7 老人会・老人クラブ | 19 高校・大学 |
| 8 障がい者当事者会・家族会 | 20 消防団・自主防災組織 |
| 9 社会福祉協議会 | 21 企業・商店 |
| 10 高齢者福祉施設 | 22 その他 () |
| 11 地域包括支援センター | 23 特にない |
| 12 障がい者福祉施設 | |

問9 貴団体の事業（活動）で、最も力を入れている事業（活動）について、内容をご記入ください。

問10 これから力を入れていきたい活動はどのようなことですか。（いくつでも○）

- 1 市民からの相談支援、援助
 - 2 同じ分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワークづくり
 - 3 異なる分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワークづくり
 - 4 高齢者、障がい者、子ども等のふれあいの拠点づくり
 - 5 地域での高齢者や障がい者の安否確認、話し相手、見守り等
 - 6 家事等の生活支援や外出支援
 - 7 趣味・娯楽・生きがいづくり活動
 - 8 イベント等を通じた普及啓発活動
 - 9 介護技術、手話等専門技術を生かした地域活動
 - 10 地域の新しいニーズを発見する活動
 - 11 課題解決に向けて政策提言する活動
 - 12 就労や就職を支援する活動
 - 13 その他（）
 - 14 特になし

問11 貴団体が活動する上での課題はどのようなことですか。(いくつでも○)

- 1 活動のための人材（職員、スタッフ、ボランティア等）が少ない、足りない
- 2 活動の中心となるリーダーや後継者が育たない
- 3 職員、スタッフが高齢化してきている
- 4 同じ分野、活動内容の団体・施設・個人とのネットワークづくりの場がない
- 5 異なる分野、活動内容の団体・施設・個人とのネットワークづくりの場がない
- 6 多くの人が参加しやすい活動内容となっていない、活動の利用者・参加者が少ない
- 7 事業（活動）の内容を情報発信する機会が少ない、事業（活動）が知られていない
- 8 活動資金が不足している、採算が合わない
- 9 活動場所や事務所の場所の確保が難しい
- 10 地域資源（人、団体、場所等）の情報が得にくい
- 11 活動に必要な情報や専門知識が不足している
- 12 組織運営がうまくいかない
- 13 その他（)
- 14 特にない

問12 貴団体の活動上の課題を解決するためにどのような支援が必要ですか。(いくつでも○)

- 1 活動・業務の担い手となる人材の育成
- 2 活動・業務の場所の確保に関する支援
- 3 活動費・事業費などの経済的な支援
- 4 団体や組織間の連携支援
- 5 先進的な活動・業務事例の紹介
- 6 専門性を持った人材や団体の紹介
- 7 地域情報の提供
- 8 情報発信に関する支援
- 9 活動・業務について相談できる機会の充実
- 10 住民への地域福祉に関する意識の啓発
- 11 その他（)
- 12 特にない

問● 小金井市では、の相談窓口や社会福祉協議会、地域の民生委員・児童委員、地域包括支援センター等において福祉相談に対応しています。貴団体では、現在の相談支援体制は十分だと思いますか。【○は1つだけ】

- | | | | |
|------------|---------|----------|---------|
| 1. 十分だと思う | → (問●へ) | 3. わからない | → (問●へ) |
| 2. 足りないと思う | | | |

問● 問●で「2」に○をつけた方にお伺いします。

問●-1 どのようなことが足りないと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 気軽に相談できる場所がない | 4. 専門的に相談できる場所がない |
| 2. 近くに相談できる場所がない | 5. どこに相談したらよいかわからない |
| 3. 総合的に相談できる場所がない | 6. その他 () |

D. 地域の課題についておたずねします。

問17 活動の中で気づく地域の課題はどのようなことですか。(いくつでも○)

<人に関すること>

- 1 日中独居の高齢者・障がい者
- 2 認知症高齢者
- 3 ひきこもり・不登校
- 4 孤立(孤独死)
- 5 障がい者の地域生活
- 6 子育てに関する不安を抱えている人
- 7 子ども・高齢者・障がい者への虐待
- 8 配偶者等からの暴力(DV)
- 9 買い物の困難等の生活課題
- 10 生活困窮者、失業・生活再建等
- 11 子どもの貧困
- 12 複数の課題を抱える世帯
- 13 福祉サービスの利用に結びついていない人

<コミュニティに関すること>

- 14 近隣住民同士の交流
- 15 高齢者や障がい者の地域での居場所
- 16 異世代の交流
- 17 障がい者と地域の人々との交流
- 18 近隣との摩擦(ごみ屋敷、騒音等)

<まちに関すること>

- 19 まちのバリアフリー(道路の段差等)
- 20 放置自転車やごみの不法投棄等
- 21 防災・災害対策
- 22 一人での避難が困難な人(避難行動要支援者)
- 23 防犯・治安・交通安全等

<その他>

- 24 その他 ()
- 25 特にない

問18 地域の課題を解決するために、どのような方策が必要だと思いますか。

(3つまで○)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1 町内会・自治会への入会を勧める | 8 地域福祉の担い手となる人々※を増やす |
| 2 地域の集まりへの参加を促す | 9 地域福祉の担い手となる人々※が連携する |
| 3 地域活動を活発にする | 10 地域の問題を専門的な福祉サービスにつなげる |
| 4 住民のボランティア活動を活発化させる | 11 住民と行政をつなげるパイプ役を果す組織を増やす |
| 5 地域の見守り活動を活発化させる | 12 その他 () |
| 6 誰もが気軽に来られる居場所を地域を増やす | 13 特にない |
| 7 相談窓口を充実させる | |

※ 行政、社会福祉法人（社会福祉協議会等）、民生委員・児童委員、町内会・自治会、ボランティア団体、NPO等

問19 地域の課題を解決するために、貴団体ではどのようなことに取り組んでいますか。また、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか。ご自由にご記入ください。

問20 支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人が、貴団体が活動している地域にいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない	3 分からない
------	-------	---------

問20で「1 いる」を選んだ方におたずねします。

問20-1 福祉サービスの利用に結びついていない人は、どのような人ですか。また、どのようなことでお困りですか。具体的にご記入ください。

※ 氏名や住所など、個人を特定できるような情報は記入しないでください。

E. 今後の小金井市の地域福祉についておたずねします。

問21 今後、小金井市民の地域活動が活性化するには、何が必要であると思いますか。(3つまで○)

- 1 団体等と地域住民との交流機会（イベント等）があること
- 2 誰もが地域活動に関する情報を入手しやすい環境があること
- 3 団体が活動できる場が身近にあること
- 4 団体同士が交流できる場・機会があること
- 5 団体間の協働をコーディネートできる人・組織があること
- 6 地域活動に関する講座・講演が行われること
- 7 その他（)
- 8 特にない

問22 地域の支え合いの仕組みづくりで、貴団体が特に必要であると思うことは何ですか。(3つまで○)

- 1 地域住民が地域の福祉活動に参加するようPRすること
- 2 地域の人々が知り合う機会や活動する場所を確保すること
- 3 ボランティアを募集し、紹介する窓口を設けること
- 4 地域の支え合いを進めるために、きっかけとなる事業を創設し推進すること
- 5 様々な団体が地域の課題について話し合うための機会を設けること
- 6 活動する場所や資金を行政が支援すること（活動拠点等の整備等）
- 7 地域で暮らす様々な人々が、お互いに認め合い、支え合うよう意識を啓発すること
- 8 社会福祉法人（社会福祉協議会等）、ボランティア団体・NPO 法人等の活動の充実
- 9 企業の福祉事業への参入の拡大・活性化
- 10 その他（)
- 11 福祉に頼る以前に、まず個人・家族で努力すべき
- 12 特にない

問23 みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、貴団体ができることや、地域や行政と協働で取り組むべきことなど、何かご意見などがあれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。

保健福祉総合計画策定に関するアンケート調査票概要

計画名	調査名		主な特徴（新規項目等）
地域福祉計画	調査1	地域福祉に関する一般市民調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援、ヤングケアラー支援に関する項目 ・新型コロナウイルス感染症に伴う地域のつながり等の変化の把握 ・成年後見制度利用促進に関する項目 ・再犯防止推進計画に関する項目
障害者計画・ 障害福祉計画	調査2	障がいのある方等への調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーを把握するための選択肢の追加 ・新型コロナウイルス感染症により日常生活で困っていることについて尋ねる項目 ・医療的ケアに関する項目 ・年収に関する項目 ・地域活動への参加に関する項目
	調査3-1	障害者関係団体調査	<ul style="list-style-type: none"> ・会員等が受けた差別及び虐待に関する相談について尋ねる項目
	調査3-2	障がい福祉関係事業所調査	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者等が受けた差別及び虐待に関する相談について尋ねる項目 ・事業所経営における新型コロナウイルス感染症の影響を尋ねる選択肢の追加
	調査4	障がい者施策に関する一般市民調査	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者への日常的支援について尋ねる項目 ・障害への理解を深めるためにどのような啓発活動が必要か尋ねる項目
介護保険・高齢者保健福祉事業計画	調査5	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	<ul style="list-style-type: none"> ・国指針準拠 ・配食サービスの利用意向に関する項目 ・新型コロナウイルス感染症による高齢者への影響に関する項目 ・スマートフォン利用状況に関する項目 ・引きこもり・ダブルケアの把握に関する項目 ・地域包括ケアシステムの深化・推進に関する項目 ・設問の精査を行い不要な項目を削除

計画名	調査名		主な特徴（新規項目等）
介護保険・高齢者保健福祉事業計画	調査 6	在宅介護実態調査	・国指針準拠
	調査 7	介護保険サービス利用意向調査	・配食サービスの利用意向に関する項目 ・新型コロナウイルス感染症による高齢者への影響に関する項目 ・引きこもり・ダブルケアの把握に関する項目 ・設問の精査を行い不要な項目を削除
	調査 8	施設サービス利用者調査	・新型コロナウイルス感染症による高齢者への影響に関する項目 ・設問の精査を行い不要な項目を削除
	調査 9	事業者調査	・人材育成に関する項目 ・新型コロナウイルス感染症による高齢者・事業者への影響に関する項目 ・地域包括ケアシステムの深化・推進に関する項目 ・設問の精査を行い不要な項目を削除
	調査 10	ケアマネジャー調査	・新型コロナウイルス感染症による高齢者・マネジメントへの影響に関する項目 ・配食サービスの利用意向に関する項目 ・ケアマネジャー業務の継続に関する項目 ・設問の精査を行い不要な項目を削除
健康増進計画	調査 11	健康増進計画に関する一般市民調査	・新型コロナウイルス感染症拡大による健康への影響、健康づくりの取組についての項目 ・飲酒に関連して、生活習慣病リスクを高める1日あたりの飲酒量を知っているかどうかの項目 ・喫煙指数を問う項目、受動喫煙の経験の有無についての項目 ・ヘルスリテラシーに関連して、どのような手段で健康情報を入手しているか問う項目
地域福祉計画	調査 12	地域福祉に関する担い手調査	・関係機関の連携強化、包括的な相談支援体制の充実にに関する項目

